



平成19年
(2007年)

28人乗りで青色のデザインがかわいらしい市街地巡回バス「かのやくるりんバス」の運行が開始されました。これにより、市街地での通院や買い物などの利便性が高まりました。

平成18年に鹿屋市、輝北町、串良町、吾平町の1市3町が合併し、大隅地域の新たな中心都市として新鹿屋市が誕生しました。また、東九州自動車道や国道220号鹿屋バイパス、大隅縦貫道などが順次整備され、市街地の交通渋滞の緩和や移動時間の短縮が図られたほか、市内を巡回する「くるとるりんバス」や鹿児島中央駅と鹿屋を結ぶ直行バスの運行が開始されるなど、大隅地域への誘客促進や地域活性化に繋がる取り組みが行われました。



「星空の街・あおぞらの街」全国大会

平成14年

輝北町で「星空の街・あおぞらの街」全国大会が行われました。皇室から高円宮殿下をお迎えしたほか、全国から約400人が参加し、盛大な会となりました。



「国道220号鹿屋バイパス」全線開通

平成4年

「国道220号鹿屋バイパス」の全線開通により、笠之原から白水間の所要時間が旧道と比較して約10分短縮され、市街地の混雑の緩和や交通安全の確保など、交通事情が改善しました。



新「鹿屋市」誕生

平成18年

1月1日、鹿屋市、輝北町、串良町、吾平町が合併し、新鹿屋市が誕生しました。1月4日には、市役所庁舎・各総合支所で開庁式が行われ、新「鹿屋市」の門出を祝いました。



「鹿児島中央駅～鹿屋間直行バス」 運行開始

平成21年

大隅地域への誘客促進と地域の活性化につなげることを目的に、鹿児島中央駅と鹿屋市を結ぶ直行バスが日本唯一の「船に乗る路線バス」として運行を開始しました。



「東九州自動車道」 「大隅縦貫道(一部)」 開通

平成26年

12月21日、東九州自動車道「鹿屋串良JCT～曾於弥五郎IC」間と大隅縦貫道「鹿屋串良JCT～笠之原IC」が同時に開通し、鹿屋まで高速道路が結ばれた歴史的な一日となりました。



輝北町指定文化財であった 「大杉」が台風で倒木

平成16年

輝北町の大円寺隣にあり、樹齢800年といわれ町のシンボルであった「大杉」が、台風第16号により強風に耐えきれず根元から折れて倒木しました。



年表で見る くらし

- 平成元年
 - 1 東九州自動車道(志布志〜隼人間)が基本計画区間に組み込まれる
 - 10 広域農道(玉泉寺橋)完成(吾平町)
 - 11 輝北町道山神〜西原線開通
- 平成二年
 - 1 「国道220号鹿屋バイパス」一部供用開始(笠之原〜郷之原間)
 - 2 肝属川鹿屋分水路トンネル貫通
 - 3 「市成地区公民館」完成(輝北町)
 - 3 「新川寿東公園」完成
 - 4 輝北町庁舎増設部分完成
 - 4 「鉄道記念公園」完成(串良町)
 - 4 「鹿屋市清掃センター」稼働
 - 9 台風第20号が襲来。各地に被害
 - 10 「全国消防操法大会」出場(輝北町百引分団5位入賞)
- 平成三年
 - 3 「百引地区公民館」完成(輝北町)
 - 5 鹿屋市新庁舎開庁
 - 5 市制施行50周年記念式典・新庁舎落成式
 - 7 「鹿屋橋」開通(架替え)
 - 9 「輝北町新総合振興計画」策定



「フィットネスパス」開通
 国鉄大隅線の線路跡地を活用して整備された自転車歩行者専用道路「フィットネスパス(サンロード鹿屋)」が開通しました。



台風第20号襲来各地に甚大な被害
 九州南部をかすめた台風第20号は、雨風ともに強く、吾平町では1時間に65mmと記録的な豪雨となり、冠水による床上浸水が相次いで発生しました。

Interview
 高須町内会 会長
上原 義史 さん
 うえはら よしふみ



地域との繋がりは、平成22年に民生委員になってからで、平成27年「高須駅百年」の記念行事の実行委員長を務めたりしているうちに、いつの間にか町内会長をやってました。

「高須駅百年」は、大正4年に大隅半島で初めて鹿屋・高須間に敷かれた「大隅軽便鉄道」から「百年」ということで取り組みましたが、それ以降の町内会活動のテーマは「高須にある資源の発掘と活用」です。たとえば、「西郷隆盛が西南戦争に征く前に宿泊した地」として、「戦後間もなく進駐軍が上陸した地」として、専門家を招いての講演会を開催したり、古老の体験談を語り継ぐ会を開いたり、まち歩きの案内板も設置しました。また、高須は海のまちなので、「マリノフェスタ」「潮干狩り」で、高須を体感できる機会を提供しています。

最近の動きとしては、若者たちに住んでもらうことを目的に、「誕生」「引っ越し」の「祝い金」を始めました。高須出身で小学校入学を控えた家族が、4年前に新居を建て引っ越して来たのが「祝い金」の第1号でした。同時に、高須町は高齢化率が60%に近いので、高齢者にも住みよい町であるよう、日常の買い物支援策等も考えたりしていかなければなりません。これからも知恵を出し合い、力を合わせて、町内会活動を続けていきたいと思えます。

- 平成四年
 - 3 国鉄大隅線跡に「フィットネスパス」開通
 - 3 「かのやイベント広場」開園
 - 3 「国道220号鹿屋バイパス」全線開通
 - 5 映画「ぼっけもん」串良ロケ始まる
 - 7 「高須橋」開通(架替え)
 - 11 城山公園に日本庭園が開園
- 平成五年
 - 2 吾平町でオフトーク通信サービス開始
 - 3 「吉田橋」・「始良橋」完成(吾平町)
 - 4 主要地方道鹿屋福山線が国道504号に昇格
- 平成六年
 - 5 「国道504号大隅地区整備促進期成会」を結成
 - 7 「国際青年の村'94」開催
 - 7 「ひまわり公園」完成
 - 9 「大隅地方拠点都市地域」指定
- 平成七年
 - 8 集中豪雨(特に鹿児島市では山崩れなどにより、死者・行方不明者が相次いだ)
 - 8 6.6水害等による災害多発
 - 9 戦後最大級の台風第13号襲来。各地に被害
 - 11 高速自動車国道施行命令により東九州自動車道(末吉〜隼人間)が建設着手

Interview

地域おこし戦隊細山ライ田一 隊長

江藤 秀樹 さん
えとう ひでき



電気会社を設立後、妻の地元の串良町細山田に拠点を移したのが地域づくりを始めたきっかけでした。当時地元の活動はほとんど行われておらず、将来自分の子どもが巣立っていったときに誇れる地元であってほしいという思いから、平成18年に、まずは地域行事の中心であった夏祭りの復活を決意しました。

最初はあまり協力が得られず大変苦労しましたが、根気強く地元で説明会を重ね、地域の方と交流を深めながら6年間の地道な活動を経て、平成25年に夏祭りを復活させることができました。そして平成26年には地域おこし戦隊細山ライ田一を設立。夏祭り以外にも地域イベントへの出張ヒーローショーや野球大会の開催、細山田校区子ども会による季節ごとのイベントなど、地域を盛り上げる活動を年間を通して続けてきました。

自分の思いを継続できたからこそまでこれだと思っています。同時に、活動を続けていくためにはどうしたらいいかということを中心に考えています。今後も地域が一つになるイベントを継続し、地域活性化のモデルとなれるよう頑張っていきたいです。また、子どもたちに地域を盛り上げる熱い人材がいることを誇りに思ってもらえるよう、今後も地域づくりのために汗を流していきたいと思います。

平成七年

笠之原水道企業団と鹿屋市水道局が合併し「鹿屋串良水道企業団」が発足

霧島ヶ丘公園に草スキー場オープン

県立大隅広域公園にゴーカート場オープン

輝北町制施行40周年記念式典

「曾田坂トンネル」開通

平成八年

「鹿屋分水路」通水

「下小原池公園」オープン(串良町)

鹿屋分水路通水記念式典

東九州自動車道建設促進中央大会(東京)

京都

ニュータウン「すばる団地」第一号マイホーム完成(輝北町)

「鹿屋市国際交流協会」発足

東九州自動車道(末吉〜鹿屋)志布志間が整備計画区間へ格上げ

東九州自動車道(志布志〜串良〜末吉)整備計画区間決定

平成九年

「真戸原大橋」・「紅葉橋」・「いろいろり橋」・「山陵公園橋」完成(吾平町)

「吉元橋」開通(串良町)

国際村サマーフェスティバル in '97

吾平町制50周年記念式典

京都

鹿屋市婦人消防隊が「全国婦人消防操法大会」出場

「第1回全国過疎地域保育サミット」開催(輝北町)

「大始良出張所」業務開始

平成十年

オフトーク通信「ときめきチャンネル」開始(輝北町)

東九州自動車道建設事業に着手

大隅縦貫道が計画路線に昇格(鹿屋串良〜田代)

国際交流&自然とのふれあい in 大隅

平成十一年

「クリーンセンターかのや」本格稼働

東九州自動車道(志布志〜鹿屋串良間)杭打ち式

大隅縦貫道(鹿屋串良 I C)〜国道220号バイパス間)事業着手

平成十二年

県道垂水〜大崎線新神屋敷橋完成(輝北町)

「鶴川間橋」完成式

「鹿屋分水路」完成式

「昭栄橋」渡り初め式

平成十三年

「古江地区道路空間整備事業」が完成

「登尾橋」完成(吾平町)

「輝北町合併問題研究会」設置

鹿屋市制60周年記念式典



平成8年(1996年)

「下小原池公園」オープン

バーベキューやバンガローでのキャンプのほか、ボート遊びを楽しむことができる「下小原池公園」が串良町下小原にオープンしました。



平成7年(1995年)

「曾田坂トンネル」開通

全長228m、幅員11.6mで、通報・警戒設備など最新の防災設備が完備された「曾田坂トンネル」が開通しました。

- ⑩ 「第15回全国女性消防操法大会」で敢闘賞を受賞(輝北町)
- ⑫ わくわく運動遊園の噴水通水式(串良町)
- 平成十四年
- ③ 東九州自動車道(末吉財部〜国分間)開通式
- ④ 「肝属地域市町村合併調査研究会」発足(2市10町)
- ⑤ 「曾於地域市町村合併調査研究会」設立(8町)
- ⑤ 「くしらふれあいバス」運行開始
- ⑩ 「第18回全国消防操法大会」小型ポンプの部で百引分団が敢闘賞を受賞
- ⑫ 合併枠組に関するアンケート実施(輝北町)
- 平成十五年
- ① 16年ぶりの大雪
- ② 国道220号(札元交差点近く)にバラを植栽
- ③ 「国道504号高隈バイパス」開通
- ③ 東九州自動車道大隅IC〜末吉財部IC間(約11km)の工事中
- ④ 「県立大隅広域公園」オートキャンプ場完成
- ⑥ 市町村合併を問う高校生以上の住民投票実施(輝北町)
- ⑦ 「大隅中央法定合併協議会」設立
- ⑧ 第2回大隅中央合併協議会
- ⑧ 「和田井堰公園」完成



平成15年(2003年)

16年ぶりの大雪

1月4日深夜から5日にかけて、上空1,500mにこの冬一番の寒気団が流れ込んだ影響で雪が降り続き、朝の気温は0.4度となり、市街地でも1〜2cm、大隅湖周辺では10cmの積雪となりました。

Interview

輝北ふれあいセンター食堂「あじさい」代表

重田 久代 さん
しげた ひきよ



平成11年から17年間、地域の子どもたちが元気で安心して生活できるように児童委員として活動してきました。当時の活動で一番の思い出は、不登校になった子どもの家に出向いて声掛けを行い、興味のある場所に一緒に出かけたり、話し相手になって心を通わせ、保健室への登校ができるようにまで導けたことです。

平成13年には全国消防操法大会出場を目的に、「輝北町つわぶき婦人防火クラブ」が結成され、私は10人のメンバーの隊長として活動を始めました。同クラブでは操法のほか火災予防の啓発活動のために福祉施設への慰問などを継続して行いました。結成当時は、小さな子どもがいる母親隊員がほとんどだったことから、毎年年末の火の用心の呼びかけには冬の寒い中、親子で一緒に拍子木を打ち鳴らして地域を巡回していたことを今でも懐かしく覚えています。

現在は、地域で外出したくても移動手段がない高齢者などを支援するため、送迎による移動支援の活動や、輝北ふれあいセンターで週1回、地域の方々と一緒に定食を提供する「輝北やすらぎ食堂」を運営しています。これからは身体が元気なうちは、地域の方々の役に立てるように活動を継続していくことが目標です。

- ⑦ 根木原地区にバス路線が開通
- ⑦ 輝北ウインドファーム」操業
- ② 「大隅中央合併協議会」発足(鹿屋市・輝北町・串良町・吾平町)
- ⑦ 新「鹿屋市」誕生
- ③ 「国道269号西原バイパス」開通
- ④ 地域自治区長を選任
- ⑤ 初の地域協議会を開催
- ⑤ 東九州自動車道建設促進地方大会
- 平成十六年
- ① 串良町が「大隅中央法定合併協議会」へ加入(鹿屋市・垂水市・吾平町・輝北町・串良町)
- ② 末吉財部間)が新直轄方式による建設区間第1次指定に決定
- ⑨ 「肝属東部合併協議会」から離脱(串良町)
- ⑨ 合併についての住民投票実施(串良町)
- ⑨ 東九州自動車道(志布志〜鹿屋串良)末吉財部間)が新直轄方式による建設区間第1次指定に決定
- 平成十七年
- ① 「大隅グリーンロード」開通
- ② 吾平町上名の愛宕山で土砂災害(死者1名、重傷1名、家屋の全半壊6棟)
- ③ 配置分合(合併)の決定書交付
- ④ 「新川田崎大橋」開通
- 平成十八年
- ① 「大隅中央合併協議会」合併協定調印式

- 8 「FMかのや」開局
- 10 鹿屋市国際交流協会設立10周年記念イベント開催
- 平成十九年**
 - 1 大堀・飯屋・黒坂・吉ヶ別府町内会による町内会合併調印式
 - 3 東九州自動車道「鹿屋串良IC」曾於弥五郎IC間「起工式
 - 4 市民憲章と市の木「クス」を定めた条例が施行
 - 7 日韓草の根交流2007インかのや市街地巡回バス「かのやくるりんバス」が運行開始
- 平成二十年**
 - 3 「国道220号古江バイパス(花岡)新城市間」開通式
 - 3 「第1次鹿屋市総合計画」策定
 - 4 吾平町の88町内会が10町内会に再編
 - 4 「吾平自然公園」オープン
 - 4 火葬場「きもつき苑」供用開始
 - 4 「肝属地区清掃センター」完成
- 平成二十一年**
 - 3 地域サポート職員発足式
 - 4 「大隅肝属広域事務組合」発足
 - 4 「高千穂公園」完成
 - 9 串良総合支所が移転
 - 11 「リナシテイかのや」内にバス待合所を設置・中央サービスコーナー窓口を移転
- 12 鹿児島中央駅～鹿屋間を結ぶ直行バスの運行を開始
- 平成二十二年**
 - 3 東九州自動車道の曾於弥五郎IC～末吉財部ICが開通
 - 3 「国道220号鹿屋バイパス(王子)～西被川間」4車線化供用開始
 - 11 鹿屋市制施行5周年記念式典
 - 11 東九州自動車道建設促進地方大会
- 平成二十三年**
 - 3 県道鹿屋吾平佐多線船間バイパス開通
 - 3 「国道220号古江バイパス(古里)～花岡間」開通
- 平成二十四年**
 - 3 高隈地区町内会合併調印式
 - 4 輝北・吾平地区くるりんバス運行開始
- 平成二十五年**
 - 1 市役所本庁1階に総合窓口開設
 - 4 輝北町の39町内会が4町内会に再編
- 平成二十六年**
 - 3 「国道504号百引バイパス」開通
 - 3 町内会合併(有武・小薄・高牧)
 - 4 吾平地域水道事業、柏木・古江・立小野簡易水道事業を鹿屋串良地域水道事業に統合し「鹿屋市水道事業」となる
 - 7 「美里吾平コミュニティ協議会」設立
 - 10 「鹿屋バス停留所」完成式
 - 11 町内会加入促進に関する連携協定

- 12 「東九州自動車道」・「大隅縦貫道(一部)」開通
- 平成二十七年**
 - 7 「高隈地区コミュニティ協議会」設立
 - 10 空中給油機KC-130訓練移転受入表明
- 平成二十八年**
 - 1 鹿屋市制施行10周年記念式典
 - 9 台風第16号が大隅半島に上陸
- 平成二十九年**
 - 4 輝北簡易水道事業を鹿屋市水道事業に統合
 - 9 リナシテイかのやバス待合所が移設リニューアル
 - 10 かのや市乗合タクシー(天神・船間地区)運行開始式
- 平成三十年**
 - 3 「たかくま石蔵館」改修
 - 4 町内会合併で「古江下町内会」が誕生
 - 9 くるりんバスに小型低床車両を導入
- 平成三十一年**
 - 2 平成30年度ふるさとづくり大賞で豊重哲郎さんが「内閣総理大臣賞」を受賞
 - 4 天皇陛下御譲位・新天皇陛下御即位に伴う記帳所の設置



空中給油機 KC-130 訓練移転受入表明

平成27年
(2015年)

空中給油機 KC-130の鹿屋基地におけるローテーション展開について、中西茂市長が「苦渋の決断ではあるが、やむを得ない」と表明し、九州防衛局と訓練に関する協定を締結しました。